

【優秀賞】

蛇口の向こうには

宮城県仙台二華中学校

一年 大^{おお}竹^{たけ}祐^{ゆう}愛^あ

それは令和元年八月のことだった。当たり前だと思っていたことが、当たり前ではなかったと気付かされた出来事があった。

私は母、祖父母とともにベトナムを訪れた。異国の文化に触れながら一日中歩き回った私は、まるで銅像のように体が動かなくなるほど疲れていた。頭もぼんやりしており、母に何度も注意されていた言葉をすっかり忘れていた。「海外の水道水は飲まないように」。気づいた時には、すでに遅かった。私はうがい水道水を使ってしまうていたのだ。それに気づいた母は声を荒げた。

「何をしているの!？」

突然の声に驚いた私は、口の中の水をそのまま飲み込んでしまった。

数時間後、強い腹痛に襲われ、私はベッドから動けなくなった。六歳だった私を、ホテルで一人にさせることもできず、その日、家族は一日中私に付き添ってくれた。家族に迷惑をかけたこと、そして自分の不注意を心から後悔した。このとき、初めて気付いた。「水道の蛇口をひねると、安全で清潔な水が出てくる」ということは、決して当たり前ではないということ。

令和七年六月、弟が校外学習で浄水場を見学した。私はコロナ禍の影響で行くことができなかったが、弟の話を聞くうちに、自分も浄水場についてもっと知りたくなった。そして調べた。

すると、水道水が家庭に届くまでには、取水施設、沈砂池、導水管、着水井、薬品混和池、フロック形成池、沈殿池、ろ過池、消毒施設、排水設備といった、十の設備が協力し合って働いていることが分かった。それら

はすべて、浄水場の職員によって二十四時間体制で監視・管理されており、常に安全な水が供給されるよう支えられている。

私たちが学校に通っているときも、夜眠っているときも、私たちの安全を守るために働いてくれている人たちがいる。水質分析技師、設備管理技術者、そして運営スタッフ。それぞれの知識と努力が、水道水に充満している。

さらに、水をきれいにするには、設備だけでなく微生物や薬品の力も欠かせない。活性汚泥の中には一リットルあたり約千億個もの微生物が存在している。細菌は有機物を分解し、原生動物は細菌を捕食して水を浄化し、後生動物はさらにそのバランスを保っている。また、主に四つの薬品が水を綺麗にしている。凝集剤が汚れを集め、消毒剤が病原菌を殺し、pH調整剤が水質を安定させ、粉末活性炭が水の味やにおいを整えてくれている。

蛇口をひねれば、綺麗で安全な水が出てくる。このことが、どれほど多くの人の努力と技術によって支えられているかを知ったとき、私は「当たり前」の裏側にあるありがたみに気付かされた。

今の私は、水を使うたびに感謝の気持ちを持つようになった。これから、日本の水道水を支えてくれている全ての人々への感謝を忘れず、水を大切に使用したいと思う。そして、清潔な水を手に入れることが難しい地域の方々にも、蛇口をひねるだけで綺麗な水が出てくる幸せを感じてもらいたい。そのため、募金や支援活動など、自分にできる方法で力になりたい。